

環境科学院 地球圏科学専攻
修士論文公開発表会プログラム

【第1日目】 平成 31 年 2 月 7 日(木)

●座長: 的場 澄人(雪氷・寒冷圏科学コース助教)

9:20— 9:40 田村 魁人(大気海洋物理学・気候力学コース)
「1994～2018 年の IAGOS 旅客機観測データを用いた航空乱気流に関する研究」

9:40—10:00 高田 将仁(大気海洋物理学・気候力学コース)
「渦分解と非渦分解の海洋大循環シミュレーションの比較を通じた中規模渦が海洋表層構造に与える影響の評価」

10:00—10:20 網野 智美(雪氷・寒冷圏科学コース)
「グリーンランド南東ドームアイスコアに含まれる不溶性微粒子の解析」

10:20—10:40 瀬川 雄大(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「堆積物 DNA を用いた過去 50 年間の別府湾真核生物群集復元」

< 20 分 休 憩 >

●座長: 関 幸(大気海洋化学・環境変遷学コース准教授)

11:00—11:20 児島 大貴(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「燃焼起源有機物の土壌から河川への移行を決定づける要因の解明」

11:20—11:40 藤田 晃市(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「西部北太平洋における人為起源窒素の分布とその変動の復元」

11:40—12:00 吉田 聖良(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「蛍光消光法を用いた鉄に対する腐植物質の錯形成能評価に関する研究」

12:00—12:20 玉井 健太郎(大気海洋物理学・気候力学コース)
「台風に伴う放射状巻雲バンドの形成メカニズム」

< お 昼 休 み 12:20-13:20 >

●座長:谷本 陽一 (大気海洋物理学・気候力学コース教授)

- 13:20-13:40 落合 展大(大気海洋物理学・気候力学コース)
「中央および東シベリアにおける森林火災の発生環境と大気汚染物質の日本への輸送」
- 13:40-14:00 櫻井 弘道(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「別寒辺牛湿原泥炭コアセルロース酸素同位体比を用いた過去 2000 年間の古気候復元」
- 14:00-14:20 小田 正人(大気海洋物理学・気候力学コース)
「全球における冬季塩分躍層の分布と年々変動」
- 14:20-14:40 胡 媛(大気海洋物理学・気候力学コース)
「The variability of land-fast sea ice off Queen Maud/Enderby Land, East Antarctic, during 2000-2017」
(東南極クイーンモードランド及びエンダービーランド沖における 2000-2017 年の定着氷変動)
- 14:40-15:00 樋口 義仁(大気海洋物理学・気候力学コース)
「対流性降水の日周期性に着目した降水強度と地上気温の関係」

< 20 分 休 憩 >

●座長:中村 知裕(大気海洋物理学・気候力学コース講師)

- 15:20-15:40 橋口 脩平(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「カラマツ年輪窒素同位体比による東シベリアタイガ林窒素循環解析」
- 15:40-16:00 木村 啓人(大気海洋物理学・気候力学コース)
「成層圏オゾンの年々変動の研究～トレンドの水平分布と ENSO に対する応答～」
- 16:00-16:20 高増 厚司(大気海洋物理学・気候力学コース)
「寒冷前線の上層雲に見られた時計回りの渦列の研究」
- 16:20-16:40 寺村 大輝 (大気海洋物理学・気候力学コース)
「東アジア半乾燥地域におけるメソ対流系の発生に対する陸面の寄与」

【第2日目】平成31年2月8日(金)

●座長:山下 洋平 (大気海洋化学・環境変遷学コース准教授)

- 9:20— 9:40 中村 優斗(大気海洋物理学・気候力学コース)
「熱帯海盆間変動が太平洋の中緯度大気海洋系に及ぼす影響」
- 9:40—10:00 飯田 博之(大気海洋物理学・気候力学コース)
「サハリン島西岸-Kholmsk 沖-における海水交換」
- 10:00—10:20 宿田 さとり(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「北太平洋西部亜寒帯海域における CO₂非平衡量の季節的動態」
- 10:20—10:40 中村 元哉 (大気海洋物理学・気候力学コース)
「北海道の風力発電所における風況調査のための JRA-55 領域ダウンスケーリングデータの評価」

< 20 分 休 憩 >

●座長:藤原 正智 (大気海洋物理学・気候力学コース准教授)

- 11:00—11:20 打矢 剛朗 (大気海洋物理学・気候力学コース)
「ADCP による海水厚測定について ~超音波氷厚計測定との比較~」
- 11:20—11:40 大河内 雄太(大気海洋物理学・気候力学コース)
「中緯度水温フロントに対する冬季大気大循環場の応答時間に関する研究」
- 11:40—12:00 町村 典彦(大気海洋物理学・気候力学コース)
「アメリー棚氷沖におけるフラジルアイスと高生物量の同時発生過程」
- 12:00—12:20 中川 一成(大気海洋化学・環境変遷学コース)
「西部北太平洋の亜表層植物プランクトンの増殖制限要因の評価 ~溶存鉄・硝酸塩の供給量比の評価~」

< お 昼 休 み 12:20—13:20 >

●座長:飯塚 芳徳(雪氷・寒冷圏科学コース助教)

13:20-13:40 福田 朔也(雪氷・寒冷圏科学コース)

「強安定条件での乱流構造に対する地形の影響」

13:40-14:00 黒崎 豊(雪氷・寒冷圏科学コース)

「アイスコア中の水安定同位体を用いたグリーンランド北西部の海水変動の解明」

14:00-14:20 馬場 梨世(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「北太平洋亜寒帯域における Fe の存在状態と供給プロセスの解明」

14:20-14:40 鐘 仕鴻(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「Flooding and production of willow trees at Indigirka River lowland in eastern Siberia」
(東シベリアにおけるインジギルカ川低地の洪水とヤナギの生産量)

< 20 分 休 憩 >

●座長:滝沢侑子(大気海洋化学・環境変遷学コース助教)

15:00-15:20 似内 梨紗(大気海洋化学・環境変遷学コース)

「北太平洋表層における窒素固定生物の現存量と群集組成の時空間変化」

15:20-15:40 山根 志織(雪氷・寒冷圏科学コース)

「東南極 Langhovde 氷河の末端変動と棚氷下海洋環境」

15:40-16:00 羽月 稜(雪氷・寒冷圏科学コース)

「グリーンランド北西部カナック氷河における汚れ物質の空間分布特性」

16:00-16:20 柴田 麻衣(雪氷・寒冷圏科学コース)

「グリーンランド南東ドームフィルンコアにおける比表面積測定」

・平成 31 年 1 月 17 日(木) 9:00- 9:20

・場所:低温科学研究所 講堂

・座長:杉山 慎(雪氷・寒冷圏科学コース教授)

山崎 開平(大気海洋物理学・気候力学コース)

「The subpolar gyre in the Australian-Antarctic Basin derived from Argo Floats」

(アルゴフロートで求めたオーストラリア-南極海盆の亜寒帯循環)

◆ 平成 30 年 6 月修了生

- ・平成 30 年 5 月 8 日（火）10:30～11:30
- ・場所：環境科学院 大講義室 D201
- ・座長：杉山 慎（雪氷・寒冷圏科学コース教授）

植木 聡明（大気海洋物理学・気候力学コース）

「温暖化による海氷減少および海面水温度変化が中緯度ジェットに与える影響」

◆ 平成 30 年 9 月修了生

- ・平成 30 年 7 月 26 日（木）13:00-14:00
- ・場 所：環境科学院 大講義室 D201
- ・座長：長谷部 文雄（大気海洋物理学・気候力学コース教授）

石井 義人（大気海洋物理学・気候力学コース）

「1.5 層浅水モデルを用いた海洋子午面循環に関する研究」